

お題「エコ」

テーマ「ラストスパート」

人生のラストスパート

月丘夢子 (泉町)

昨年会社を退職し人のためになる仕事がしたくて、約半年間、介護の勉強に岐阜市まで通学。終了後に受けた検診でまさかのがんが発覚。今年2月の手術で無事に生還し、今では治療も終えすっかり元気に。病院の先生や看護師さん、家族・友人・知人にお隣さん、支えていただいた皆さんに感謝感謝の毎日です。

とはいえ人生の大転機でした。抗がん剤治療の頃の長く暑い夏が過ぎ、秋の日差し越しの紅葉や列を成して巣に帰る鳥たちに、

火や水をムダなく使いエコライフ
一品の料理を減らすエコ暮し
エコなれどお金のエコは私無理
せつでんをしたはいいけど夏バテで
エコカーに乗って救おう日本丸
エゴ清めにごりがとれてエコになる
ボクの服エコだつてと案山子君

光ちゃん
木偶
今井一慈
こねこ
小阪千枝子
足立哲也
かずえ

以前とは違う感覚が込み上げてきて、そのキラキラしたすべての命に感動してしまうのです。

土岐川清掃で見つけた名も知らない小さな花々、生い茂るツツや川辺に群生するススキさえ愛おしく思えます。

命の輝きを知った？私の人生のラストスパート。せっかく勉強した介護も専従では体力的に無理なので、習い始めた手話と合わせてボランティアを楽しみながら頑張りますか！

(編) 文字から伝わる勢いが、文字数の目安を飛び越えました。何気ないことにも感謝・感動して過ごしたいものです。

大掃除

本の虫 (泉町)

来年を迎える前に、せめて一冊二冊は読み終えたいと思う。ずらりと並んだ未読の本たちのことだ。特に「これからの正義の話をしよう」などは、単行本を読めないまま、気がつけば文庫版が出ていた。

すっぱり「読めなかった」と諦められればいいのだが、できないところが優柔不断だ。ぱーっと古本屋に売ろうか、と思いつつ、段ボール箱にしまおう。とりあえずまた来年、と先送りにするのが毎年恒例、我が家の大掃除。

常にラストスパート

ガリガリ君 (市外)

「人は、自分自身の中に砂漠を作らなければいけない」
エストニア出身の作曲家アルヴォ・ペルトの言葉です。先日、ある陶芸家の方から伺った「常に疑問を持つ。悩み続ける」という言葉が、同じ響きを持っていると感じました。

ラストスパートが帳尻合わせであってはならない。常に緊張感をもって、自分に、周囲に向き合っていくかなくてはならない。そんなことを思いつつ、いつもの「まあいつか」が口をつく。

1月1日号の投稿募集

お便りテーマは「日記」です。毎年、日記をつけることを新年の目標にしているけど…など、日記に関する皆さんのお便りを200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「氷」です。
(1人一句)

締め切りは12月17日(月)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎ 1111(内線185) / ☎ 7763

✉ koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は、採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり、趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。